



# 碧南ロータリークラブ週報

第2448回例会 平成21年3月11日(水)

- 会長 平岩統一郎 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 木村 徳雄 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



**Make  
Dreams  
Real**

## ● 齊 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

卓話の講師 岡島 良平氏



## 会 長 挨拶

皆さんこんにちは。会員の岡崎信用金庫碧南中央支店長織田典隆さんと、(株)竹中電機会長の竹中義雄さんが退会されましたことをご報告申し上げます。



平岩統一郎会長

文芸春秋の4月号に平沼赳夫衆議院員が興味ある投稿をされてみえましたのでご披露致します。フォール卿と武士道という題で投稿されております。『昭和17年2月、ジャワ島北方で帝国海軍は英米・オランダの連合艦隊と交戦。艦船15隻のうち11隻を撃沈。救命ボートにつかまり一昼夜漂流していたイギリス海軍の乗組員を発見した駆逐艦「雷」の工藤俊作艦長は漂流していた422名の命を救った。駆逐艦の砲撃手であったサムエル・フォール卿が昨年12月に来日された。フォール卿は外交官としてスウェーデン大使、クウェート大使を歴任されて現在90歳。彼は日本海軍への感謝の念を忘れずに自伝の本の巻頭には元帝国海軍中佐工藤俊作に捧げると記した。平成10年天皇陛下の訪英に英国国内で反日運動が起きると、タイムズ誌に自らの体験を寄稿して沈静化に一役かった。来日されたフォール卿は工藤艦長の墓前で思い出話をした。最初、日本の駆逐艦が現れた時は銃撃されるのではないかと恐怖を憶えた。ところが駆逐艦は救難活動中の国際信号旗をマストに掲げた。困っている人がいたらそれが敵であっても全力で救う。それが日本の誇り高き武士道だと認識した瞬間だ。工藤艦長は救助した我々を甲板に集めると英語でスピーチをした。「諸君は勇敢に戦われた。今や諸君は帝国海軍の名誉あるゲストである。」とスピーチされた。当時、危険な海域で工藤艦長は雷の乗務員150名に総力を挙げて救助にあたらせた。船上では油まみれの敵兵の身体をアルコールで拭いたり、貴重な飲料水、ミルク、ビスケット等をふるまった。フォール卿が帰国する日、私が面談した。シャツのカフボタンを見たら中国の珠のような美しい石であった。工藤中佐の遺族から頂いた形見だと言われた。時代を越え、海を越えた武士道精神の輝きを見た。』という文章が載っておりました。

最近、日本人が自ら日本人の値打を下げるようないろいろな発言があったり、いろいろな記事

がでております。このような事例が過去にあったということです。最近の生き方は私がやったとか、あれをやったとかという請求書型の人間が増えてきています。

その中で、このような領収書型の人間が先達にいたということをお伝え致しました。

## 幹事報告

- ・例会変更等は別紙幹事報告書の通りです。
- ・先週の理事会で CLP(クラブリーダーシッププラン)を本年度から立ち上げることを決定しました。
- ・来週3月18日は移動例会です。例会開催場所はあおいパークで植樹例会となります。
- ・本日例会終了後臨時理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席をお願い致します。



長田豊治幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数77名(内出席免除者14名の内出席者9名)出席者60名	
出席対象者 60/77名	出席率 78.95%
欠席者17名(病欠者1名)	前々回修正出席率 97.18%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 長田 豊治君 昨日、棚尾 旧加須組の琴平社のイベント「てくすけ踊り」を棚小3年生の子供達と楽しむことが出来ました。今朝の中日新聞に掲載されました。
- 新美 真司君 第13回へきなん都市デザイン文化賞佳作を頂きました。ありがとうございます。
- 伊藤 正幸君 明日、シングルコンペを開催させて頂きます。皆々様にお助けを頂いて感謝申し上げます。
- 清澤 聡之君 本日、文化財調査で、古い物が見つかりました。今後が楽しみです。
- 石川 唯司君 長い間、例会に欠席しましてご迷惑をお掛けしました。
- 山中 寛紀君 ちょっと良いことがありました。
- 市川 裕介君 3月10日、家族に良いことがありました。

## 卓話

### 「百才の片言」 岡島 良平氏

耐用年数を過ぎた人間ですがお招き頂きましたので、少し話をさせていただきます。

私は、明治生まれです。まだ4万人程度いると思います。100年も生かさしてもらえたのはありがたいことだと思っております。目も歯も人工のもののお世話になっております。耳が聞こえにくいので失礼をしてしまいます。私は、聖路加国際病院の理事長日野原重明先生を尊敬しています。97歳で、いまだ現役のスケジュールをこなしてみえます。

さて、本日は100歳も長生きした秘訣は何か。ということですが秘訣はありません。私は、自然に従って食事は粗食で少食です。日野原先生は、朝はジュースと牛乳、昼はクッキー少々と牛乳、夜は野菜とご飯は半分だそうです。私は、歩くことは今まではよく歩いていました。80歳台までは良かったですが90歳台は無理になってきました。長い間生かさしてもらいま



般若心教が書かれた岡島氏の杖

したが世間に迷惑かけないようにやってきました。長生きの秘訣は、当たり前のことです。食事は、その時に、その場所で、できた時に頂く。腹一杯ではなく腹に余裕をもたした方が良いと思います。美食の大食はダメです。自然に従うことは、自然から無償で与えてもらうも

のに従うことです。100年生かさしてもらった経験から言いますと、決して自然に逆らうことはしない。自然に帰って、自然の成り行きに従って生活することが大切です。世の中は、やなことが沢山あります。自然の信念に従って人様に迷惑かからないようにする。私が皆さんに言いたいのは無理をしない。自然に従う。夜が明けたら起きて日が暮れたら寝る。夜更しはしない。朝は、朝日がでる前に仕事をする。一生懸命に仕事をするのが社会の役に立つ。人間、生まれたものは必ず亡くなる。大きな仕事はできなくても世の中のために働く。せめて新聞にでるようなことがないように生きたいと思います。私は、家族と一緒にご飯を食べる今日一日を大事にし、せめて生きている間だけでも迷惑かけないように大切に生きたいと思います。

これが私の「百才の片言」です。

**次回例会案内 平成21年3月25日（水）**

**卓話 「身近な環境」**

**地区環境保全委員会 副委員長 岡本 巧氏**